

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル 0120-782-031
公告の方法	日本経済新聞に掲載

# Fujita 2017

## 第55期 中間報告書

# Report

### 住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について

株主様の口座開設先の証券会社にお申し出下さい。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の管理機関であります三井住友信託銀行株式会社にお申し出下さい。

### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人の三井住友信託銀行株式会社にお申し出下さい。なお、配当金の支払い期間につきましては、支払開始日から満3年となっておりますのでご注意下さい。



**藤田エンジニアリング株式会社**

本社  
〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174番地5  
TEL:(027)361-1111(代表)



**藤田エンジニアリング株式会社**

2017年4月1日～2017年9月30日

株主の皆様におかれましては、日頃より当社の経営に対し、多大なご支援とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの主力事業の属する国内建設市場は、民間設備投資を中心に堅調に推移する一方、労務費の上昇や受注競争の激化により依然として厳しい環境が続いております。

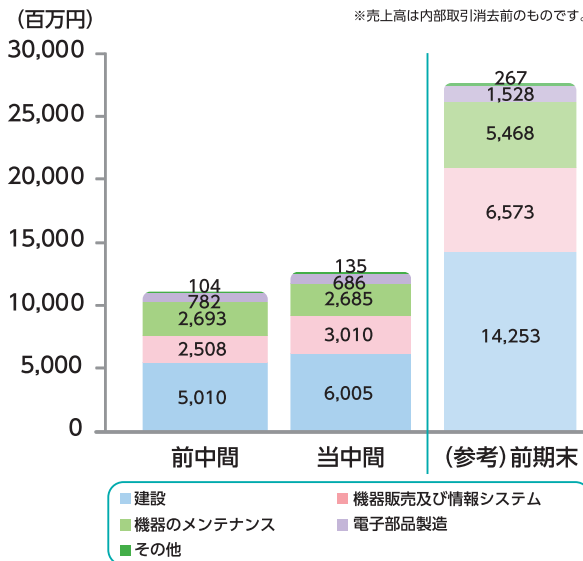
こうした中、当社グループは新たな成長に向け、本年度からグループの技術と経験の結集を盛り込んだ中期経営計画「Integrity(誠実)& Initiative(主導権)」をスタートさせました。

これからも、お客様から更に信頼される企業グループを目指し、コーポレート・ガバナンスの充実に努めるとともに、収益力の強化と安定的な配当を通じて株主の皆様からのご期待に応えてまいり所存ですので、何卒変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

後田 俊

藤田グループはグループ総力を結集して  
顧客価値の最大化を目指します



### 建設事業

産業設備工事での進捗が順調であったこと等により、売上高は60億5百万円(前年同四半期比19.9%の増加)となりました。

### 機器販売及び情報システム事業

製造業向けの機器販売や情報システム開発の受注がともに堅調であったことにより、売上高は30億10百万円(前年同四半期比20.0%の増加)となりました。

### 機器のメンテナンス事業

設備機器や施設の保守管理が増加したものの、工場の設備改修等が減少したこと等により、売上高は26億85百万円(前年同四半期比0.3%の減少)となりました。

### 電子部品製造事業

半導体関連部品の受注が堅調であったものの、製造工程省力化装置の受注が低調であったこと等により、売上高は6億86百万円(前年同四半期比12.3%の減少)となりました。

### その他

売上高は1億35百万円(前年同四半期比29.3%の増加)となりました。

## 四半期連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前会計年度末 (2017年3月31日現在)	当第2四半期末 (2017年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	16,498,977	13,404,609
固定資産	4,735,262	4,897,668
有形固定資産	3,309,870	3,277,431
無形固定資産	115,826	103,045
投資その他の資産	1,309,566	1,517,192
<b>資産合計</b>	<b>21,234,240</b>	<b>18,302,278</b>

## 負債の部

流動負債	10,175,066	6,899,230
固定負債	1,123,454	1,161,304
<b>負債合計</b>	<b>11,298,520</b>	<b>8,060,535</b>

## 純資産の部

株主資本	9,664,233	9,890,004
資本金	1,029,213	1,029,213
資本剰余金	805,932	805,932
利益剰余金	9,071,592	9,297,363
自己株式	△ 1,242,504	△ 1,242,504
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>271,486</b>	<b>351,738</b>
その他有価証券評価差額金	223,223	296,039
為替換算調整勘定	48,262	55,699
<b>純資産合計</b>	<b>9,935,719</b>	<b>10,241,742</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>21,234,240</b>	<b>18,302,278</b>

## ■ 四半期連結損益計算書(累計期間)

(単位：千円)

科目	前期 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)	当期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)
<b>売上高</b>	<b>10,520,666</b>	<b>11,714,807</b>
売上原価	9,064,394	10,040,013
売上総利益	1,456,271	1,674,793
販売費及び一般管理費	1,226,372	1,208,492
<b>営業利益</b>	<b>229,899</b>	<b>466,301</b>
営業外収益	55,078	58,974
営業外費用	43,010	21,585
<b>経常利益</b>	<b>241,967</b>	<b>503,689</b>
税金等調整前四半期純利益	241,967	503,689
法人税、住民税及び事業税	77,703	146,154
法人税等調整額	31,600	40,810
四半期純利益	132,664	316,725
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>132,664</b>	<b>316,725</b>

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(累計期間)

(単位：千円)

科目	前期 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)	当期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	202,364	△ 727,985
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 155,071	△ 154,020
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 100,813	△ 119,739
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 5,036	△ 2,334
現金及び現金同等物の増減額	△ 58,555	△ 1,004,079
現金及び現金同等物の期首残高	4,116,325	5,573,862
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,057,769	4,569,783

## 事業紹介

## 会社概要

商号	藤田エンジニアリング株式会社
創業	1926年6月1日
立金	1964年10月28日
資本	1,029,213千円
主な事業内容	空調・給排水衛生・電気工事等の施工
従業員数	245名(2017年9月30日現在)
事業所	
本社	群馬県高崎市飯塚町1174番地5
太田支店	群馬県太田市小舞木町361番地1
栃木支店	栃木県栃木市河合町8番16号
埼玉支店	埼玉県熊谷市間屋町二丁目2番17号
上田営業所	長野県上田市芳田1277番2
渋川営業所	群馬県渋川市中村731番地1
宇都宮営業所	栃木県宇都宮市東宿郷四丁目2番24号
大宮営業所	埼玉県さいたま市大宮区宮町三丁目1番地2

## 役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長	藤田 実
専務取締役	鈴木 昇司
取締役	久藤 久美
取締役	泉 典浩
取締役	北嶋 忠継
取締役	五十嵐 富三郎
監査役	清水 耕司
監査役	室賀 康志
監査役	信澤 山洋

## 藤田エンジニアリンググループ

藤田ソリューションパートナーズ株式会社  
 藤田テクノ株式会社  
 藤田デバイス株式会社  
 藤田水道受託株式会社  
 システムハウスエンジニアリング株式会社  
 FUJITA ENGINEERING ASIA PTE. LTD.

## 株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	11,700,000株
株主総数	1,441名

## FENET® Cloud Service

水処理施設等の稼働状況を遠距離監視するサービスです。

小型情報端末装置「FENET/A」を監視したい装置に設置し、高品質・高信頼のVPNネットワークと、CSゴールドマーク認定を受けたクラウドサービスを利用して、機器の稼働状況を監視します。異常発生時には警報メールを発信し、詳細な情報をお知らせします。



## 新世代の除塵・除菌・消臭装置

## バイバイキング®

特許 第5252737号、第5312416号



## 短時間で強力除菌消臭

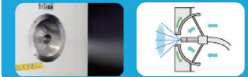
独自開発のスーパーミクロンジェットで、除菌水を微細なミストの状態にして噴霧し、人の衣服に付着した菌や臭いを直接、除菌・消臭します。工場や施設内にウイルスや菌を持ち込まないため、衛生管理につながります。



## 高い安心・安全性

強力な除菌力にもかかわらず、弱酸性の除菌水を使用し人体にやさしく、目や口に入っても安全です。経口毒性、吸入毒性、眼刺激性、皮膚刺激性、皮膚アレルギー性、発がん性、細胞毒性等の安全検証済みのため、安心して使用できます。

## 独自開発のスーパーミクロンジェット®



バイバイキングは、一回の除菌人数、出入り口の自動ドア、エアシャワー噴出口の増設など設置場所・使用状況によりオーダーメイドできます。